

(3) 加藤 導男 さん 11月 (午後3時30分～4時30分) 演題: 「その後の北条氏」

- イ) 昨年大河ドラマ『鎌倉殿の十三人』の最終回、北条義時の臨終間際の場面が思い出されます。姉政子が「頼家の死に関係していたの?」と聞いていました……。
- ロ) 鎌倉幕府将軍は初代将軍・源頼朝の後は、頼家・実朝の源氏三代で終わり、その後は京からの傀儡将軍(親王将軍)をたて、北条氏が執権として実権を握った。
- ハ) 義時の後の3代執権・北条泰時は有能であったとするが、やはり、源氏を抹殺する体制は変わらず、建長寺創建の5代執権時頼も、円覚寺創建の8代執権時宗もその実像は色々取沙汰されている。

毎度のことながら、加藤さんの鎌倉時代の話は非常におもしろいです。確かに『鎌倉殿の13人』以後、あの北条家の人々はどう活躍したのか?知りたいたところですね、どんなエピソードがとび出すのか楽しみです。



8代執権北条時宗が創設の
円覚寺舎利殿(国宝)

その後の北条氏

8代執権北条時宗が創設の
円覚寺舍利殿(国宝)

2023年11月7日 横浜歴史研究会 加藤 導男

スライド作成支援: 宮下元

「その後の北条氏」

目次

はじめに

1. 名執権は三代泰時としているが本当か？
 2. 策謀家であった五代執権・時頼
 3. 蒙古襲来と北条時宗
- ・ 『比企の乱』は北条氏の陰謀 <別紙1>
 - ・ 源義経 北行伝説について <別紙2>
 - ・ 北条一族が関与した事件と首謀者等 一覧
源氏殲滅作戦と御家人族滅作戦 <別紙3>

『比企の乱』は北条氏の陰謀 <別紙1>

- ・比企氏とは： 秦野市（波多野氏）から比企郡へ
- ・比企遠宗は義朝に仕えた。
妻（比企の禪尼）と共に、頼朝の乳母父として伊豆の頼朝を支援
- ・甥の比企能員（よしかず）を養子に。
妻が頼家の乳母
御家人筆頭の地位を築く。
- ・能員の娘の若狭局が
頼家の長男一幡を産む。
- ・筆頭御家人の地位を奪う陰謀



妙本寺
<神奈川
歴史探訪
ルートガイ
ドより>

2
▲かつて鎌倉幕府の有力な御家人であった比企一族の屋敷があった場所に建っている



「妙本寺」の
比企一族供養塔
<刀剣ワールドより>

源義経 北行伝説について <別紙2>

1. 義経身替り伝説

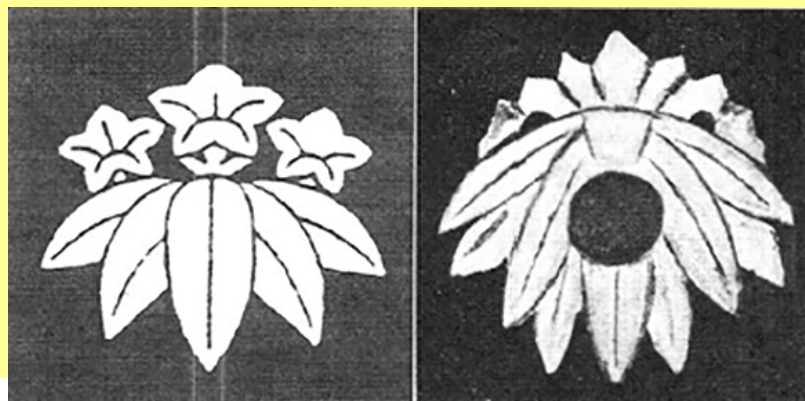
1189年藤原泰衡に衣川で攻められ
持仏堂にて自害。31歳

「杉目太郎行信」(すぎのめ): 義経の従兄弟
首実検: 梶原景時・和田義盛。港に棄てた。



中尊寺所蔵の源義経像

2. 蝦夷地からモンゴルに渡り、 ジンギス・カーンになった???



左が笹竜胆紋。右がモンゴル人が兜につける
という紋章

(出典: 佐々木勝三、大町北造、横田正二『義経伝説の謎』
勁文社)

1. 名執権は三代泰時と しているが本当か？

- ・北条氏の執権政治：
114年間(1219～1333年)
人口は20万人程か(酒樽37,274個)
蒙古侵略への国防で病弊・落日へ。
- ・泰時：執権期間1224年～1242年
60歳で死去。墓は常楽寺(大船)。
- ・貞永式目(御成敗式目)
151ヶ条制定(1232年)
- ・竹御所(頼家の娘、4代将軍
九条頼経の妻)が死産し悩乱
(1224年)。



＜神奈川歴史探訪
ルートガイド より＞

1

▲北条泰時が夫人の母の追善供養のために創建したと伝えられる

1 常楽寺／北条泰時
の墓／木曾義高塚

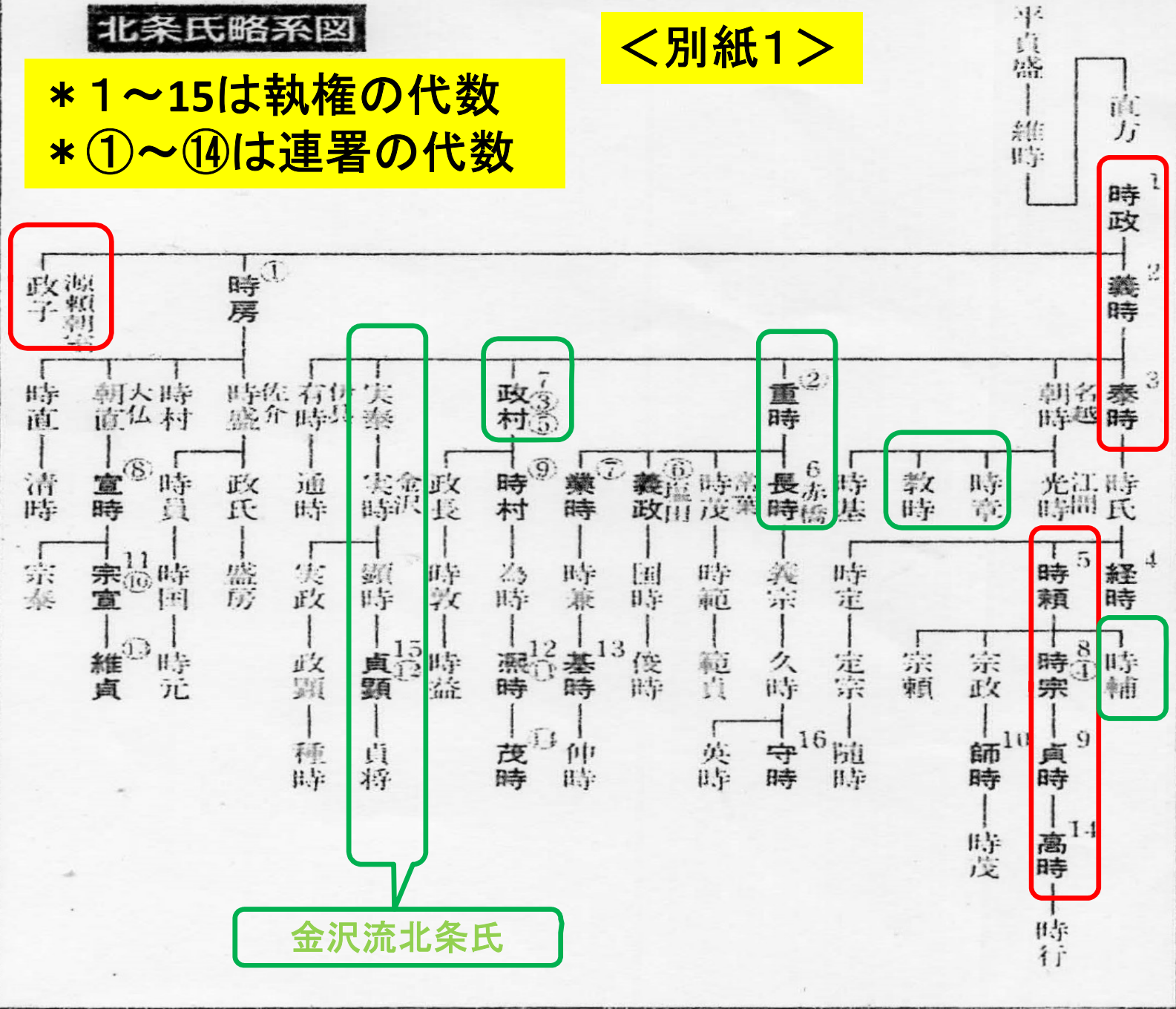
嘉禎3(1237)年、鎌倉幕府の第3代執権だった北条泰時が夫人の母の追善供養のために創建したと伝えられる。境内の仏殿裏手には北条泰時や源頼朝に討たれた木曾義高(木曾義仲の嫡子で頼朝と北条政子間に生まれた長女大姫の許嫁として鎌倉に送られた)の墓がある。

北条氏略系図

北条氏略系図

<別紙1>

- * 1~15は執権の代数
- * ①~⑭は連署の代数



金沢流北条氏

2. 策謀家であった五代執権・時頼

- ・兄の経時の若死で、5代執権に。20歳
- ・三浦義村一族を、安達景盛と謀り追討し滅ぼす。
- ・37歳で死去(1263年)。辞世は
『業鏡高懸 三十七年
一槌打碎 大道坦然』
- ・建長寺を創建



<神奈川歴史探訪
ルートガイド より>

2. 策謀家であった五代執権・時頼



5代執権北条時頼が創建の建長寺
＜神奈川歴史探訪ルートガイド より＞

▲北条時頼が蘭溪道隆を招いて創建した

4 建長寺

建長5（1253）年、第5代執権・北条時頼が蘭溪道隆を招いて創建した寺。臨済宗建長寺派の大本山で日本初の禅専門道場でもある。鎌倉五山第一位。三門東側にある梵鐘は建長7（1255）年の鑄造で、蘭溪道隆による銘が刻まれており、国

宝に指定されている。関東最大の法堂は江戸時代後期の文化11（1814）年に再建されたもの。鎌倉三十三観音霊場巡りの第28番札所。

〔拝観〕 無休／午前8時30分～午後4時30分／〔拝観料〕 大人300円／小人100円

吾妻鏡(東鑑) とは

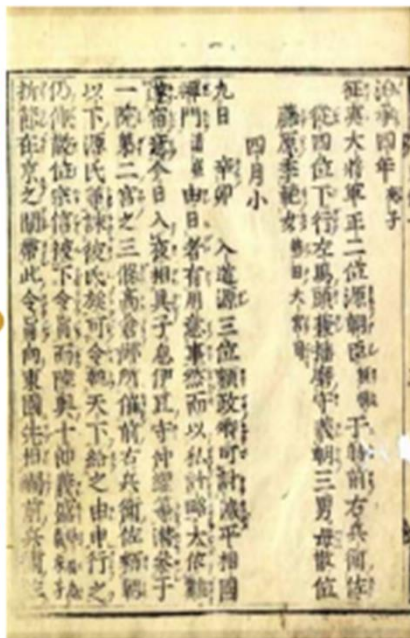
作者： 不詳(鎌倉幕府奉行人)
成立： 14世紀初。 鎌倉幕府が編纂
原本： 無く散逸。
右下は『北条本』。紅葉山文庫旧蔵・全51冊

鎌倉幕府創始期から鎌倉時代中期に至るまでの事歴を、鎌倉幕府が編年体で編纂した歴史書で、日本中世史研究の基本史料とされている。

■ 成立経緯

本書の原本は伝えられておらず、早い時期に散逸したと考えられている。成立経緯については不明な点が多い。

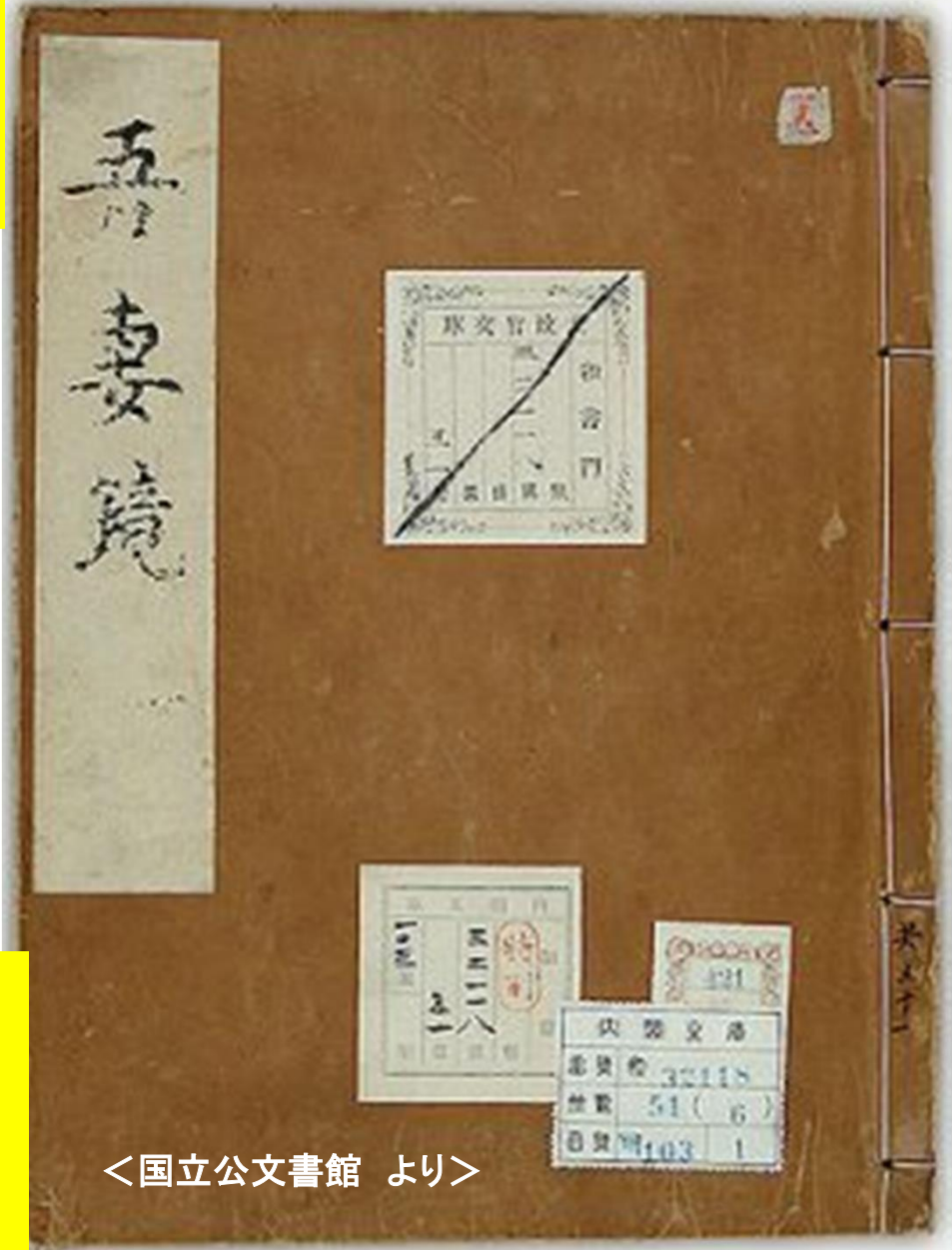
編纂の時期については、源氏三代の將軍記は文永の



(版本)『新刊吾妻鏡 卷1』菅野ト校訂

内容： 幕府の歴代將軍を軸に、東国の武家社会の歴史を詳細に叙述。

以仁王(もちひとおう)の令旨(1180)の記事から、宗尊親王(むねたか)鎌倉幕府6代將軍)の京都送還(1266)まで。



<国立公文書館 より>

3. 蒙古襲来と北条時宗

- ・執権は、時頼から長時⇒政村⇒時宗に
- ・円覚寺や明月院(当時は禅興寺)を創建
- ・元寇: 文永の役(1274年)、弘安の役(1279年)
- ・34歳で死去(1284年4月20日)
- ・貞時が14歳で継ぐが、「霜月騒動」が起こり安達安盛一族が滅亡。

8代執権北条時宗が創設の
円覚寺舍利殿(国宝)



3. 蒙古襲来と北条時宗

3 明月院

元は北条時宗が建立した禅興寺の塔頭のひとつ。禅興寺は明治時代初めに廃寺となり、この明月院のみが残った。あじさい寺の通称で広く知られる通り、境内には数千株の紫陽花が植えられている。「本堂後庭園」は普段非



<神奈川歴史探訪
ルートガイド より>

▲あじさい寺の通称で広く知られる

公開だが、花菖蒲と紅葉の時期のみ特別公開される。鎌倉三十三観音霊場巡りの第30番札所。

〔拝観〕 午前9時00分〜午後4時00分 / (6月のみ) 午前8時30分〜午後5時00分 / 無休
／〔拝観料〕 300円 (6月は大人600円) / 本堂後庭園は別途500円

北条一族が関連した事件と首謀者等一覧 <別紙3>

事件及び犠牲者	事件発生日	事件の概要	首謀者	加担者
源氏殲滅作戦 ○曾我兄弟の仇討 (曾我十郎祐成、五郎時致) ○源頼朝の死 ?	1193. 5. 28 1199. 1. 13	『曾我兄弟の仇討』は、後世美談としているが、実際は源頼朝暗殺未遂事件? 『吾妻鏡』に頼朝の死の前後の記事が欠落。前年末の相模川橋供養の際、落馬が原因とするが、北条時政等による暗殺の可能性?	北条時政 大江広元	— 北条政子、北条時政
○阿野全成(今若丸)の殺害	1203. 6. 23	源頼朝亡き後、生き残りの兄弟として、北条氏としては邪魔な存在であった…	北条時政	北条義時、八田知家、北条政子、阿波局
・全成の子頼全の殺害	1203. 7. 16	『吾妻鏡』「八田知家仰せを奉り下野国において阿野法橋全成を誅殺す」のみにて理由は無し。	北条時政	北条義時、北条政子
・全成の子時元、挙兵し敗死	1219. 2. 27	従兄弟の実朝の死により挙兵。義時の命を受けた金窪行親の手勢により敗死	北条義時	北条政子
○「修善寺事件」二代将軍源頼家を謀殺	1204. 7. 18	比企の乱にて下記の頼家の子一幡が殺され修善寺に幽閉され、時政の追手により謀殺	北条時政	北条政子
・比企の乱で頼家の子一幡焼死	1203. 9. 2	比企氏と頼家が北条氏に対抗の機運ありと時政が比企能員を謀殺、一幡他比企氏滅亡	北条時政	北条政子
・頼家遺児・栄実、京都で自刃	1214. 12. 13	和田の乱の後、残党が頼家の子栄実を大將軍となし反逆を企て、京都で襲われ自刃。	北条義時	北条政子、大江広元
・頼家遺児・禅暁、京都で殺害	1220. 4. 15	『吾妻鏡』には記載無し。叔父実朝を暗殺した公暁に加担したとの嫌疑で、京都東山で謀殺される。	北条義時	北条政子
○公暁が三代将軍源実朝を暗殺	1219. 1. 27	実朝自身は暗殺を予見していたと思われるが、跡継ぎのない実朝の継承を謀議していた義時と三浦義村の陰謀の結果が暗殺か。	北条義時	三浦義村
御家人族滅作戦 ○梶原一族の滅亡	1200. 1. 20	『玉葉』に「御家人の間に頼家を倒して弟実朝の擁立を図る陰謀あり、これを景時が頼家に報告するも信用されず追放された」とある。	北条時政	阿波局、三浦義村、和田義盛
○比企一族の滅亡	1203. 9. 2	將軍頼家の権力を二分することに怒った比企能員と頼家の話を、隣室で聞いた政子が時政に伝え、能員を謀殺し、比企一族滅亡。	北条時政	北条政子、和田義盛、平賀朝雅
○畠山一族の滅亡	1205. 6. 22	義時は、時政・牧の方の畠山重忠を当初拒絶するも、追討に承諾したとするのは??	北条時政	北条義時、平賀朝雅、牧の方
○和田一族の滅亡	1213. 5. 3	梶原・比企・畠山等有力御家人が滅亡した後の標的となったのは和田義盛であった。	北条義時	三浦義村、大江広元

《引用・参考文献》

- 『鎌倉事典』 白井永二 東京堂出版
- 『北条氏九代の陰謀と盛衰』 沢 史生 創元社
- 『全譯(訳)吾妻鏡』 貴志正造 新人物往来社
- 『歴史読本 八代執権北条時宗』 新人物往来社
- 『平安鎌倉史紀行』 宮脇俊三 講談社
- 『鎌倉・室町人名辞典』 安田元久 新人物往来社
- 『もっと行きたい鎌倉歴史散歩』 奥富敬之 新人物往来社
- 『陰謀の日本中世史』 呉座勇一 角川文庫
- 『鎌倉歴史散歩』 沢 史生 創元社
- 『成吉思汗の秘密』 高木彬光 角川文庫
- 『義経の世界』 奥富敬之 新人物往来社
- 『鎌倉武士物語』 今野信雄 河出書房新社
- フリー百科事典『ウィキペディア(Wikipedia)』
- 『神奈川 歴史探訪 ルートガイド』 横浜歴史研究会著、2016/2/20
¥1,600 メイツ出版、 監修:加藤導男・竹村紘一・堀江洋之

その後の北条氏



終



ご清聴 ありがとうございます

横浜歴史研究会 加藤 導男